

## 平成 31 年度 西砂学習館運営協議会（令和元年 10 月）会議録概要

日 時：平成 31 年 10 月 10 日（木）午後 6 時～8 時 30 分

出 席：大橋 加藤 広瀬 進藤 長谷川 小笠原 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：なし

### 1. 開会のあいさつ

大橋：ノーベル化学賞を日本人が受賞。取材を見ていると、明るい方で話を聞いててもほほえましい。ご夫婦のやりとりも面白い。好感が持てる素晴らしい方。

9 月 25 日地域学習館運営協議会研修会に参加。西砂からは 8 名の委員が出席。委員の意欲や関心の高さを感じられて誇らしい気持ちで参加。幸学習館で実施しているかわせみ祭、かわせみカフェの報告があった。研修に参加して思うことは沢山あり、西砂学習館でも活かせる研修会であってほしかったと感じた。

### 2. 平成 31 年度地域活性化講座について

#### （1）「西砂川での災害を考える〈第 4 弾〉被災時クッキング」について

石川：資料参照。定員 25 名に対して申込者は 23 名。年代層は 70 代が一番多い。委員は 9 時集合で、持ち物はなし。買い出しは石川が行く。委員も材料費として 500 円頂く。

【参加】大橋、加藤、進藤、岩元、森、小林

#### （2）西砂児童館・西砂学習館運営協議会合同企画について

大橋：「第 2 弾 パパ・ママと一緒に楽しみたい西砂夜間塾ヨガでリラックス」について。

石川：10 月 9 日近隣小中学校にチラシを配布。ヨガマットは泉体育館から借りる。当日の調理は小笠原館長が段取りを考えている。

小笠原：調理は 17 時からスタート。炊き込みご飯と豚汁を作る。調理スタッフは 2 人必要。保育スタッフは児童館で 2 名で対応。幼児が入ってきた場合は保育ボランティアが必要。ヨガなので事前の机等の準備はない。ヨガのスタートは午後 6 時半。

【調理】長谷川、俣本 【受付】俣本

#### （3）にじっこ子育てひろば合同企画の取り止めについて

石川：前回の会議で講師の都合で日程を決めるとしていたが、この予算で児童館合同企画を 2 回実施するということが今年の 2 月の会議で決まっていた。にじっこ子育てひろばでは独自に毎月講座を企画している。

大橋：取り止めは前年度の 2 月 9 日の会議で決めていた。にじっこ子育てひろばの企画は充足している為、児童館との合同企画を拡充していく方向に決めていた。にじっ

子育てひろばの利用が減っていると聞いた。勤めに出ている親が増えている事が影響しているよう。

(4) 西砂・砂川地区の歴史について

大橋：講師と打合せ後情報をお伝えしたいと思う。

(5) 認知症予防講座について

石川：包括支援センターに依頼をすれば講座をして頂けるとのこと。今後は進藤さんと具体的に詰めていく。

大橋：身体を動かす参加型の講座としたい。

進藤：前回右手と左手で違う動きをする脳への刺激運動を入れた。

岩元：自分で良ければやる。

広瀬：若年性認知症は意外と知られていないので、レクチャーだけでも入れたい。

大橋：映像で見れるものはあるか。

進藤：色々あるが若年性認知症についての映像はあるか分からない。

(6) その他

石川：資料1参照。3月に森さんがパソコン講座を企画。地域活性化講座の謝礼が6,000円残っているので、これを使い学習館の事業として実施したい。3月14日「お米でクッキング」は立川で唯一の田んぼが柴崎体育館のすぐ隣にある。子どもプロジェクト・エコプロジェクトのメンバーで田植えをして、今度稲刈りをする。傾聴講座「こころを傾けて聴こう」は高松学習館と西砂学習館で実施。西砂学習館では11月29日、12月6日に開催。良い講座なので各学習館で持ち回りで実施することになった。

広瀬：興味のある方は錦傾聴ボランティアもある。

加藤：1月28日～30日パソコン講座を予定。講師は森さん。市民推進委員会の企画。

岩元：「クリスマス・ジャズ・コンサート」「まえむら」さんではなくて、「いまむら」さん。

### 3. 報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ連絡。

(2) 「フリースペース」について（報告）

小林：今月は10月5日の1回実施。他のイベントと重なったので、申込は珍しく3名と少なかった。昆布と鰹節をふんだんに使って出汁を取った。

広瀬：今日の朝日新聞に子ども食堂の事が載っていた。

小林：一番子ども食堂は3年が過ぎた。

- 加藤：市民企画講座について、課題が1つある。アイムや柴崎学習館、錦学習館での開催は多いが、西砂学習館での開催が少ない。遠いから参加が難しいと言う話。交流クッキングは11月は西砂学習館で行い、次回は幸学習館で行う予定。
- 広瀬：最近西砂学習館で音楽の講座を沢山行うようになったが、この地域に元7中生で市内に2名しかいない東京芸術大学の学生がいる。頼めば演奏してくれる。
- 進藤：10月17日「にしすなくるりん祭」がある。ママフェスとしているが、地域の方も是非来て頂きたい。野菜、焼き菓子、お母さんが作ったものが売られる。もう1点。「災害時クッキング」と同日、軽減税率の制度についての講座をグットネイバー西砂一番が企画で開催する。
- 長谷川：青少健では松中小と西砂小の5年生が市民科授業の一環で10月23日に麦撒きを行う。10月29日7中合唱コンクール。11月3日中学生の主張大会。10月18日青少健理事会がある。
- 小笠原：台風19号の影響で土曜日は午前中のみで12時を目安に児童館を閉館。当日のイベントは全て中止。学童保育所も変則的な運営になる。10月はハロウインのイベントを行う。10月26日東団地の自治会、セイムス、セブンイレブン松中団地店にご協力戴く。10月19日松中小運動会。11月のドッジボール大会に向けて練習が白熱し5年生が1人骨折してしまった。
- 岩本：西砂地区文化祭は11月2日は演芸と展示で11月3日は展示のみ行う。近隣小中学校生徒の展示も行う。立川市の文化協会の文化祭が11月16日と17日花みどり文化センターで展示を行う。11月24日正午からリスルホールで友達コンサートの演奏会がある。来週の金曜日に西砂川地区の文化祭の実行委員がある。
- 小林：特にありません。
- 森：西砂パソコン倶楽部では11月1日に講座を実施。定員10名に12名の参加。1月28日～30日の市民企画「エクセル講座」を開催。3月3日団体企画型講座では音楽をパソコンに取り入れる内容。
- 増田：財政を考える会では今年度も学習会を続けている。講義が終わった後に学習事項に関連した意見交換を行っているが、毎回立川市の行政課題について建設的な意見が交わされている。10月26日学習会は財政課の出前講座「2018年度立川市決算を知る」がある。立川市が発行している「やさしい財政白書」の中学生での利用状況を調べた結果、殆どの学校で活用されていないことが判明した。日野市の研究所と共同で作成した「中学生のためのやさしい財政のはなし：立川市財政副読本」を使った授業実施の要請を教育委員会に行い、市内全校を訪問した結果、第八中学校などで行うことになった。受験活動終了後開催をめどに調整中。

(3) 地域学習館運営協議会交流会について

【参加】大橋、加藤、広瀬、進藤、長谷川、小笠原

大橋：交流会では幸学習館の話聞き大学生が頑張っているという部分で感銘を受けた。ただ、大学生に来て頂ける環境の柴崎学習館、錦学習館、幸学習館にとっては参考になるが、大学生に来て頂けない西砂学習館などは難しいと感じた。交通費も出すことができない中で西砂学習館では大学生に来ていただくことは難しい。今回の話しを西砂学習館で活かそうと思っても何をどうすれば良いかが分からない。学生が単独で午前から午後までの企画を作るということをやった経験があれば、どれだけの人が嬉しいか。そのような人材がいないのだから私達は人材を掘り起こす所から始めなくてはならない。立川駅周辺で実施する講座に行きたいお母さんはたくさんいるが、実際は朝早くから子どもを預けて講座を受けられる訳ではないという地域格差みたいなものがあると思っている。

広瀬：グループワークのテーマも各学習館でやっていることの報告だけで終わったのは勿体なかった。

大橋：研修の意味が何だったのかなと思ってしまった。

石川：交流会ではなく発表会になっていた気がする。

大橋：地域学校コーディネーターと地域学習館がどう連携を図っていくことが今の課題である。どのように進めていくかは分からないが、そういうことを行政から明確に伝えてほしい。

加藤：サマーイベントには高校生や大学生のボランティアが来た。地域の学生がこの地域のために何をやろうかという方向に持って行けると良い。

大橋：西砂地域にすでにいる高校生や大学生をうまく活用出来たらいい。

小笠原：世代間交流を学習館に招き入れることで循環させていきたい。

岩本：地運協の委員に関心のある若者世代を募集できたらと思う。若者世代が何を求めているのか、地域学習館の存在をどうとらえているのか、意見を聞くだけでも。

小笠原：立川市から委託を受けて子ども委員会をしているがマンネリ化してきている。地元で根差した声を拾い上げていかないと感じ、その事が子ども委員会の役目と思った。

森：テーマを決めて若者含めた西砂会議みたいな感じで議論出来たらいい。そこから何かあるかもしれない。

その他 ※次回開催；次回は、11月26日（火）午後6時～ 西砂学習館